

「殺生石」物語考

物語の概略 ⑬

加茂明神より「墓目鳴弦（鏑矢を射、弦を鳴らして悪霊をはらう）」の御託宣を受けた泰親は、関白忠実公を通して鳥羽天皇よりその神事を行う許しを得た。身を清め衣服を改めた泰親は、清涼殿に護持の祈檀を四方形に造り始める。

祈檀の北を上座にし、その中央には、北辰（北極星）と北斗（北斗七星）の大神を勧請し、四方に、日月、木星、火星、金星、水星、土星等の神々と、天体二十八星座の全ての神々を勧請した。

また、檀の東には青龍の旗を、南に朱雀、西に白狐、北に玄武の旗を立て、青い幣（御幣）赤い幣白い幣黒い幣を、そして中央には黄色い幣を立てた。

頭上には注連を引き飾り、国立尊、国狭槌尊、伊弉諾尊、天照太神、彦彦出見尊等々の神々を、春日八幡よりは八百万神悉くを勧請して祭り、四方に、持国天、增長天、広目天、

多聞天の四天王を配置した。

なお、祈檀には燈明二百、大燈明一本が煌々と照り、供物を備え伽羅の香を燻らす。

保安元年（一一二〇）九月八日、阿部泰親は、四人の供に、青、赤、白、黒の浄衣を着せ、手にはそれぞれの色の幣を持たせて四方に配置し、自身も、吉服浄衣に冠帯して、公卿殿上人らが見守る中、黄の浄衣に黄の幣を持った供を一人具して檀に昇る。

泰親は、弓と墓目の矢を左右の者に持たせ、白の幣を持って一心に祈ること、七日を経る。

満願の日、泰親は、玉藻前を招待したいと関白忠実公に申し出る。玉藻の前は強く難色を示したが、その旨を散聞になった鳥羽天皇は、朕の病の平癒の儀式だから出席せよと、強いて玉藻前に命じる。

筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏壽 先生(湯本在住)

今月のひとこと

「令和」なる元号のもと一億の民は未来の扉を開く

かつこ

令和元年。新しい時代のスタートです。4月の人事異動で広報担当も少し体制が変わり、初めての広報紙発行です。町の情報や町民の皆さんの笑顔がたくさん詰まった「広報那須」。もっと身近に感じていただけるよう「かつこ」の内容をリニューアルします。毎月広報担当がそれぞれの視点で元気な那須をお届けしていきます。

◎

季節外れの寒気が居座り、4月10日には雪が強く降りましたね。ちょうど町内小学校の入学式の日で、体育館へ行く渡り廊下を「寒い。寒い」と思いながら歩いてみると、前を進んでいた2年生の男の子が「気持ちいい」と、楽しそうに雪交じりの空気を胸いっぱい吸い込んでいました。その元気な姿に、思わずほほ笑んでしまいました。心をあたためてくれてありがとう。取材先では、いつも子どもたちに癒されています。

◎

新緑がきらきらと美しい季節になりました。10日間の連休は、皆さんいかがでしたか。今年最後の年。4月14日は大宮駅で観光PRイベントが開催され、町長も駆けつけました。今月の表紙にもなった新鮮なアスパラガスの無料配布が行われ、イベント会場は大盛況でした。豊かな自然とおいしい食べ物や首都圏の皆さんに知ってもらいたい機会となりました。

◎

こんにちは 赤ちゃん



白田 悠真くん (上川)

平成30年 4月3日生

父 豊さん 母 直美さん

悠真くんは…

お兄ちゃんと遊ぶことが大好きです!

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課秘書広報係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口 ・世帯数 10,305世帯 (+21)
 (4月1日現在・住民基本台帳) ・人口 25,194人 (-55)
 ()の数字は前月比 男 12,498人(-30) 女 12,696人(-25)

あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。